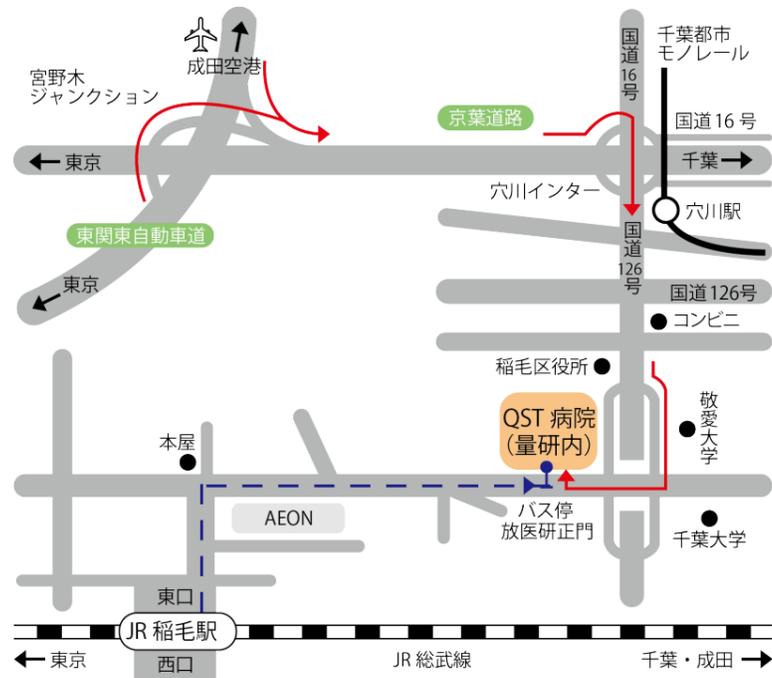


アクセス



公共交通機関ご利用の場合

◎JR総武線 稲毛駅（総武線快速・各駅 停車）

*JR稲毛駅東口より徒歩10分

*JR稲毛駅東口バスターミナル（2番乗り場）よりバス乗車 → 放医研正門下車
（山王町行、千葉センター行、ザ・クイーンズガーデン稲毛行）

お車でのお越しの場合（駐車場有り ※正門からお入りください）

*京葉道路：穴川インターより10分（注意：稲毛区役所付近で側道へ）

*東関東自動車道：宮野木ジャンクション → 京葉道路・穴川インターへ

電話相談

重粒子線治療に関する相談をお電話にて受け付けています。

Tel:043-284-8852

月曜日～金曜日（祝日、休日年末年始は除く）

午前 9:00～11:30 午後 12:30～15:00

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院（旧放射線医学総合研究所病院）

Tel:043-206-3306（代表）

〒263-8555 千葉県千葉市稲毛区穴川4-9-1

当院ホームページ【<https://www.nirs.qst.go.jp/hospital/>】

当院ホームページは
こちらから！！



重粒子線治療をお受けになりたい方へ ～肺がん～

国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構

QST病院



重粒子線治療とは

- ▷ 一般の放射線治療と比べ、**がん病巣に集中して照射**できます。
- ▷ **一般の放射線が効きにくいがんにも効果**があります。
- ▷ **通院**での治療もできます。

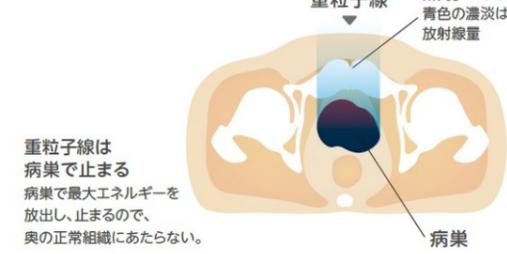
重粒子線とX線治療の線量分布比較

X線治療の場合



X線は病巣を突き抜けるので、病巣の奥の正常組織にも放射線があたる。

重粒子線の場合



重粒子線は病巣で止まるので、病巣で最大エネルギーを放出し、止まるので、奥の正常組織にあたらない。

適応となるかた

(2022年4月現在)

- ▷ **他の臓器に転移のない**肺がん（ステージⅠ～Ⅲ）と診断された方
- ▷ 原則として**手術による治療が困難**である方（手術を希望されない方も適応となります）

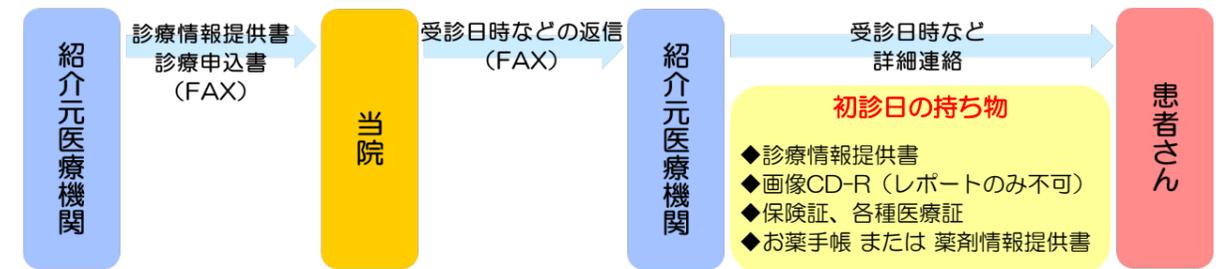
よくいただくご質問と回答

- ▷ **治療期間**はどれほどですか。
ご病気の状態によって**1日**で終わるものもありますが、**約4週間**必要となる場合もあります。そのほか治療の準備に2～3日程度を要します。
- ▷ **X線治療**との違いは何ですか。
重粒子線治療では**範囲を絞って治療**することが可能です。肺、気管、心臓、食道などの臓器へのダメージを減らすことができます。
- ▷ 過去にX線治療を受けている場合も重粒子線治療は受けられますか。
X線治療の状況次第では重粒子線治療を行なうことが可能です。QST病院から主治医の先生にご相談し、X線治療の資料をご用意いただきます。
- ▷ 治療は通院でも可能でしょうか。
原則通院で治療を行なっていますが、希望される場合は入院も可能です。
- ▷ **治療中や治療後**に注意することはありますか。
治療による食道炎のために**1～2か月間、刺激物や飲酒を避けていただく**必要があります。また、**治療前から禁煙**をお願いします。
- ▷ 間質性肺炎があると言われていますが、重粒子線治療は受けられますか。
状況次第では可能ですが、治療後の副作用は通常よりも強くなる可能性があります。

受診について

当院での治療目的の受診は原則として医療機関からの紹介予約制となっています。

重粒子線治療を希望される方は、まずかかりつけの医療機関の医師にご相談ください。

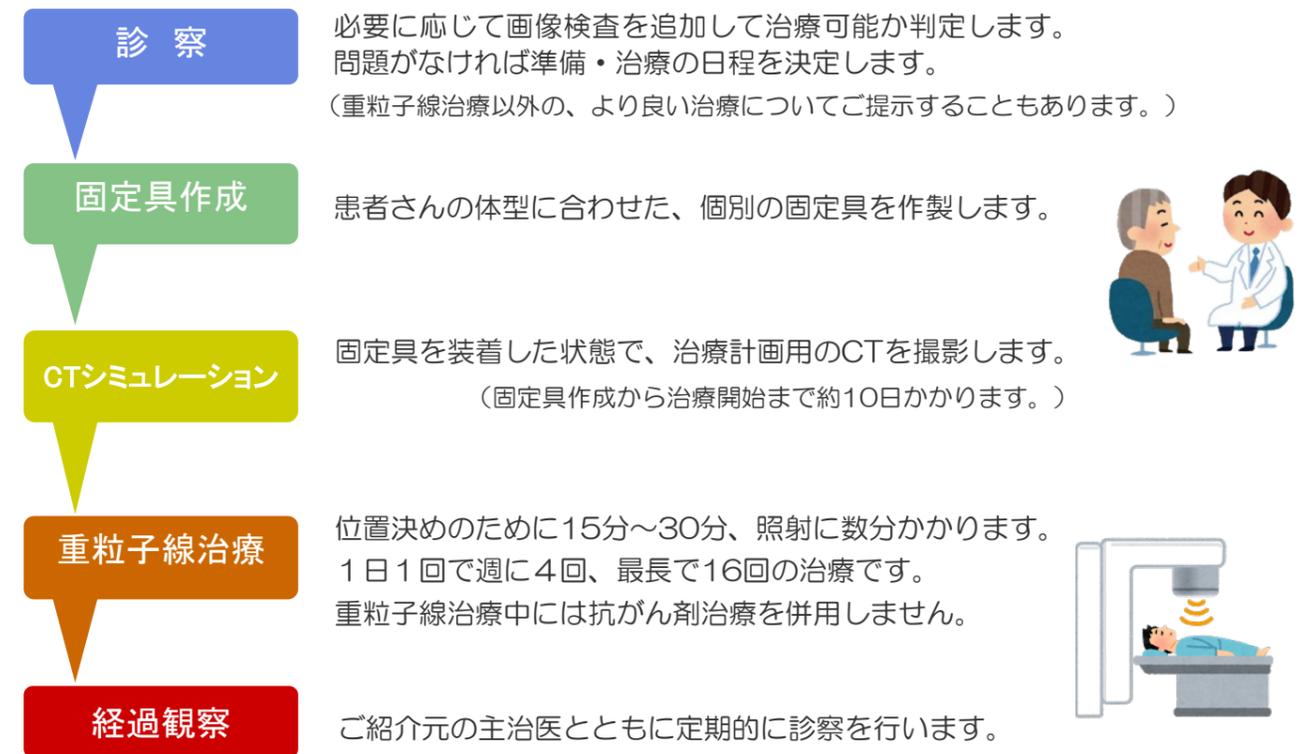


FAX送付先：043-206-3439（地域医療連携室）
電話相談：043-284-8852（詳細は裏面を参照）

そのほか特定の疾患や病歴により必要となるものは個別にご案内します。

治療の流れについて

重粒子線治療では、安全で精度の高い照射を行うために、治療前に患者さんに合った治療方針を事前にしっかり検討したうえで、固定具作製や治療計画用のCT撮影などを行います。



治療費について

肺がんに対する重粒子線治療は、2022年4月現在、**先進医療**が適用されます*。一般の保険診療と共通する部分（診察費、検査等のための診療費や入院費など）の費用は、ご加入の健康保険の区分によって1割～3割の額がご負担額となります。これに加えて、重粒子線治療の技術料314万円が全額自己負担となります。

(※民間の生命保険会社などでは高額な費用負担に備えるために先進医療特約や一時給付金等のプランを用意している場合があります。詳しくは各保険会社へお問い合わせください。)